

令和6年9月30日

東北森林管理局

令和6年度国有林材（製品）の安定供給システム販売（第2次）の協定締結について

令和6年7月16日に公告した国有林材（製品）の安定供給システム販売（第2次）について、別紙のとおり令和6年9月9日付けで協定を締結したので公表します。

今回の公告数量 62 物件、168,500m³ に対し、13 者から 47 物件に申請がありました。

申請者から提出された企画提案を審査した結果、一般製材、合板材、集成材、チップ材等を用途とする 13 者と 41 物件、117,900m³ の協定締結となりました。

【問い合わせ先】

林野庁 東北森林管理局 資源活用課

電話 018-836-2496 企画官（花粉発生源対策）

018-836-2128 素材供給係



林 野 庁

令和6年7月16日付けで公告した「令和6年度国有林材（製品）の安定供給システムによる販売（第2次）」について、協定者を下記のとおり決定しましたので結果を公表します。

令和6年度 国有林材（製品）の安定供給システム（第2次）協定者の公表

物件 番号	協定者（商号又は名称）	出材予定 森林管理署等	協定数量 (m3)	主たる 樹材種	応募者数	申請者評価点		提案内容（②短期的な貢献等）
						最高点	－	
						最低点	－	
1	青森県森林組合連合会	津軽	1,200	スギ	2	最高点	71	・製材用材として需要の少ない小径木を杭材として加工生産し、海岸防災林及び緑化木支柱等に有効活用する。【樹種：スギ、規格：長級4.00m 径級9～11cm、小曲可・軽微なトビ腐れ可（矢高末口径の20％以内・重曲可）】 ・販売協定先から製材用として3.65m、梱包・仕組材用として2.20m及び2.40m等の採材要望があり、状況に応じた需給調整を図る。 ・山元から協定先への流通は、状況に応じて、山元直送販売、海上輸送販売、木材センター販売の中から効率的なのを選択する。また、木材センター及び港の一部を中間土場として活用することで、流通の効率性を上げる。
						最低点	65	
2	青森県森林組合連合会	津軽	4,500	スギ	2	最高点	71	物件番号1号の提案内容と同様である。
						最低点	59	
3	青森県森林組合連合会	津軽	6,300	スギ	2	最高点	71	物件番号1号の提案内容と同様である。
						最低点	66	
4	青森県森林組合連合会	金木	4,000	スギ	2	最高点	71	物件番号1号の提案内容と同様である。
						最低点	59	
5	青森県森林組合連合会	金木	4,000	スギ	2	最高点	71	物件番号1号の提案内容と同様である。
						最低点	60	
6	青森県森林組合連合会	金木	4,500	スギ	2	最高点	71	物件番号1号の提案内容と同様である。
						最低点	61	
7	青森県森林組合連合会	青森	4,000	スギ	2	最高点	71	物件番号1号の提案内容と同様である。
						最低点	64	
8	青森県森林組合連合会	青森	4,000	スギ	2	最高点	71	物件番号1号の提案内容と同様である。
						最低点	64	
9	青森県森林組合連合会	青森	2,000	スギ	2	最高点	71	物件番号1号の提案内容と同様である。
						最低点	61	
10	－	下北	500	スギ	1	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
						最低点	－	
11	青森県森林整備事業協同組合	下北	5,000	スギ	1	最高点	75	・県内のスギ材を製材している地元中小工場に供給することで、輸送コストが抑えられること、夏場の虫害等で傷みやすい丸太も早期に搬出することで、価格低下を防ぐことができる。 ・早期に搬出することにより、土場の再利用が可能となり、国有林の素材生産事業の生産性向上にも貢献する。
						最低点		
12	－	下北	5,000	スギ	2	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
						最低点	－	
13	青森県森林組合連合会	三八上北	3,000	スギ	1	最高点	73	物件番号1号の提案内容と同様である。
						最低点		
14	青森県木材協同組合	三八上北	4,000	スギ	2	最高点	67	・販売協定先11社は、当組合の組合員であり、それぞれの製材工場、製紙工場、バイオマス用チップ工場へ原木を供給され、各工場では年間消費する量について、システム販売材を購入することで、その量が確保され工場の安定稼働と地域経済の発展及び国有林材の有効活用へつながる。また、各社が仕入や製造を計画的に行えるので、トラックの手配も効率的に行われコスト削減が図られる。
						最低点	61	
15	青森県木材協同組合	三八上北	4,000	スギ	2	最高点	67	物件番号14号の提案内容と同様である。
						最低点	61	
16	－	岩手北部	1,000	スギ	－	最高点	－	申請なし
						最低点	－	
17	－	岩手北部	1,300	スギ	－	最高点	－	申請なし
						最低点	－	
18	－	岩手北部	2,300	スギ	－	最高点	－	申請なし
						最低点	－	
19	ノースジャパン素材流通協同組合	岩手北部	4,400	スギ	1	最高点	68	・国有林の売り上げ確保に貢献する。 ・原木の価値を最大限に高めることに貢献する。 ・需要者のニーズを、森林管理署や生産請負業者に情報提供することで生産に貢献する。 ・生産請負事業者が素材の高値販売のノウハウを習得し、国有林立木販売の高値落札及び落札率の向上に貢献する。 ・合板・集成材・製材など様々な需要に合わせた選別を行い、原木に付加価値を付けた販売をすることで貢献する。 ・山元土場からの速やかな搬出を行い、山土場の回転率を上げることで、生産請負業者に貢献する。
						最低点		
20	岩手県森林組合連合会	岩手北部	2,500	スギ	3	最高点	72	・本会で所有する木材センターやストックポイントを中間土場として活用することで、搬出速度の向上、林道の損傷リスクの低減により、コスト削減が見込まれる。 ・採材検討会への積極的な出席や市況・販売先からの情報を森林管理署の担当官にも伝えることで、山土場での有利販売に貢献する。 ・県産木材の需要拡大を図ることで、ひいては岩手県内の国有林の需要拡大に繋げる。
						最低点	51	
21	岩手県森林組合連合会	岩手北部	3,400	スギ	3	最高点	72	物件番号20号の提案内容と同様である。
						最低点	61	
22	－	三陸北部	300	スギ	－	最高点	－	申請なし
						最低点	－	
23	ノースジャパン素材流通協同組合	三陸北部	3,500	カラマツ	1	最高点	68	物件番号19号の提案内容と同様である。
						最低点		
24	ノースジャパン素材流通協同組合	三陸北部	2,000	カラマツ	1	最高点	68	物件番号19号の提案内容と同様である。
						最低点		
25	岩手県森林組合連合会	三陸北部	4,700	スギ	2	最高点	72	物件番号20号の提案内容と同様である。
						最低点	64	
26	岩手県森林組合連合会	三陸北部	4,000	カラマツ	2	最高点	72	物件番号20号の提案内容と同様である。
						最低点	64	
27	有限会社丸興木材店	久慈	1,800	アカマツ	3	最高点	80	・大径木から小径木まですべての径級を受け入れることで、山林の有効活用を図る。 ・大径木は縦割り機で処理することで、チップパー機に投入できるサイズに分割が可能で、チェンソーによる分割処理の1/3の経費でチップを製造する事が可能である。 ・山元から工場までの距離が近いため、運搬コストの削減、早期の運搬が可能であり、国有林の素材生産で利用する山元土場に原木が滞留することがなくなり、国有林の素材生産性の向上が期待できる。
						最低点	53	
28	ノースジャパン素材流通協同組合	盛岡	3,000	カラマツ	1	最高点	68	物件番号19号の提案内容と同様である。
						最低点		
29	ノースジャパン素材流通協同組合	盛岡	1,500	カラマツ	1	最高点	68	物件番号19号の提案内容と同様である。
						最低点		
30	岩手県森林組合連合会	盛岡	4,100	カラマツ	2	最高点	72	物件番号20号の提案内容と同様である。
						最低点	63	
31	－	岩手南部	2,000	スギ	－	最高点	－	申請なし
						最低点	－	
32	－	岩手南部	2,000	スギ	－	最高点	－	申請なし
						最低点	－	
33	－	遠野	700	カラマツ	－	最高点	－	申請なし
						最低点	－	
34	ノースジャパン素材流通協同組合	遠野	1,000	カラマツ	1	最高点	68	物件番号19号の提案内容と同様である。
						最低点		
35	岩手県森林組合連合会	遠野	3,500	カラマツ	2	最高点	72	物件番号20号の提案内容と同様である。
						最低点	66	

物件 番号	協定者（商号又は名称）	出材予定 森林管理署等	協定数量 (m3)	主たる 樹材種	応募者数	申請者評価点		提案内容（②短期的な貢献等）
						最高点	－	
						最低点	－	
36	日本製紙木材株式会社	宮城北部	1,000	スギ	1	最高点	75	・国内・国外の製材所・合板工場・チップ工場・バイオマス工場の規格・品質に迅速に対応する事で経営安定化に貢献できる。また新規需要先を開拓できる。幅広い顧客網を活用し、搬出期間を短縮し、次の森林整備事業を妨げない。輸送業者との取組を強化して複数の物件を契約することで、輸送効率向上、コスト削減を実現するとともに、CO2排出削減に貢献する。
37	日本製紙木材株式会社	仙台	1,000	スギ	1	最高点	75	物件番号3 6 号の提案内容と同様である。
38	株式会社北越マテリアル	仙台	900	アカマツ	1	最高点	85	・協定物件については、全て弊社工場に納入の上、適切な在庫管理を実施し、協定先発電所向けバイオマス燃料チップ素材として利用する。また、購入済み民・国有林から生産される素材と合わせ、協力運送業者と共に、安全最優先のもと効率的な搬出計画を策定。トレーラ輸送比率UP等トラック24年問題にも配慮しながら、輸送量の維持及びコスト削減に努める。
39	株式会社沓澤製材所	米代東部	1,000	スギ	1	最高点	71	・素材：素材生産業者・森林組合及び国有林から購入または、請負販売した原木調達を増やしながら、地域の林業・木材産業への貢献を図っていく。 ・製品：「JAS製材品普及推進展示会」に於いて、毎年農林水産大臣賞等三等を目指し、JAS製品はもちろんのこと秋田スギ製材品の価値を全国普及に努める。現在、試作した「ひまわり蜜蝋ワックス」をスギ製品に塗布することにより商品価値を高める工夫をしている。またJAS2×4 認証工場として普及に努める。 ・設備：製材過程で生じるパーク、チップ、おが屑を燃料に木質バイオマスボイラーを使用。秋田県内初のJクレジット制度に登録。石油などの化学燃料削減と地球温暖化防止、国有林資源の有効活用をもとにSDGsを意識した取組に努める。また、地域資源を活かす生産性と歩留まりを向上させる体制づくりに努める。 ・人材：現在全従業員49名に対し有資格者200名以上で、毎年5 名以上の資格取得を進めているが、資格では得られない経営方針（地域・顧客貢献等）、生産体制、環境配慮などを意識した組織づくりに取り組む。メンター制度を活用し人材確保と成長を促す。
40	ノースジャパン素材流通協同組合	米代東部	2,000	スギ	1	最高点	68	物件番号1 9 号の提案内容と同様である。
41	ノースジャパン素材流通協同組合	米代東部	2,000	スギ	1	最高点	68	物件番号1 9 号の提案内容と同様である。
42	－	米代東部	4,000	スギ	1	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
43	－	米代東部	4,000	スギ	1	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
44	－	上小阿仁	500	スギ	－	最高点	－	申請なし
45	秋田県素材生産流通協同組合	上小阿仁	1,000	スギ	1	最高点	76	・協定先はA材からD材まで受け入れる大型製材工場である。自動選別機検知により予定の材種区分外の原木が搬入された場合でも、当該原木は購入可能である。 ・木材クラウドを活用することにより、原則自動選別機に搬入した翌日午後には、インターネット上で検知データが当該森林管理署及び生産請負事業者（組合員に限る）で入手することができ、事業の進行管理に寄与できる。
46	ノースジャパン素材流通協同組合	上小阿仁	1,500	スギ	1	最高点	68	物件番号1 9 号の提案内容と同様である。
47	－	上小阿仁	4,000	スギ	－	最高点	－	申請なし
48	－	上小阿仁	2,000	スギ	1	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
49	秋田県素材生産流通協同組合	米代西部	1,000	スギ	1	最高点	76	物件番号4 5 号の提案内容と同様である。
50	－	米代西部	4,000	スギ	－	最高点	－	申請なし
51	－	米代西部	4,000	スギ	－	最高点	－	申請なし
52	秋田県森林組合連合会	米代西部	3,000	スギ	1	最高点	68	各社の需要動向を見極め、有利販売につなげることで材価に還元する。また、迅速な販売によって山元の生産現場に材が滞貨することがないようにし、生産事業のスムーズな進行にも貢献できるし、梅雨時に発生する虫害材発生にも対応できる。
53	秋田県森林組合連合会	米代西部	3,000	スギ	1	最高点	68	物件番号5 2 号の提案内容と同様である。
54	株式会社門脇木材	秋田	1,000	スギ	1	最高点	79	・原木の安定供給により、引き合いの強い非住宅向け物件への、安定的な製品の出荷が可能になる。自社トラックは8 台抱えており、各土場からの搬出も効率よく運搬が可能になり、伐採現場の原木が滞留しないようになる。
55	秋田県素材生産流通協同組合	秋田	1,000	スギ	1	最高点	76	物件番号4 5 号の提案内容と同様である。
56	－	湯沢	2,000	スギ	－	最高点	－	申請なし
57	北日本索道株式会社	湯沢	4,000	スギ	1	最高点	88	・生産工程により発生する全てについてチップとして有効活用する。（製紙用はチップ材、ダストは菌床・畜産敷料・樹皮はバイオ燃料として全て活用する。） ・署担当者と連絡を密にして、生産現場の進行状況や集積土場の滞貨状況、林道等の状況を把握しながら、無駄のない配車計画により安全で効率的な運搬を図る。
58	－	由利	3,000	スギ	－	最高点	－	申請なし
59	北日本索道株式会社	由利	4,600	スギ	1	最高点	88	物件番号5 7 号の提案内容と同様である。
60	－	山形	2,000	スギ	1	最高点	－	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
61	－	山形	3,000	スギ	－	最高点	－	申請なし
62	－	山形	3,000	スギ	－	最高点	－	申請なし

令和 6 年 9 月 30 日
東北森林管理局長 大政 康史